

病蹟学研究 現代的構造主義か らのアプローチ

奥村克行1)2)

1)公益財団法人 研医会,

2)精神医学研究所附属 東京武蔵野病院

医史学、東洋医学の書誌学、文献学研究

公益財団法人 研医会：

銀座の中心にある東洋医学の図書館。世界でここにしかない文献も多く外国の研究者が立ち寄ることも多い。

<http://ken-i-kai.la.coocan.jp/>

森立之研究会：

当時、世界最高水準にあった江戸幕府の医学館の考証学的な中医学の文献学研究の流れを継ぐ。失われた宋改以前の傷寒論の研究などを行う。

<http://www.moririsshi.net/>

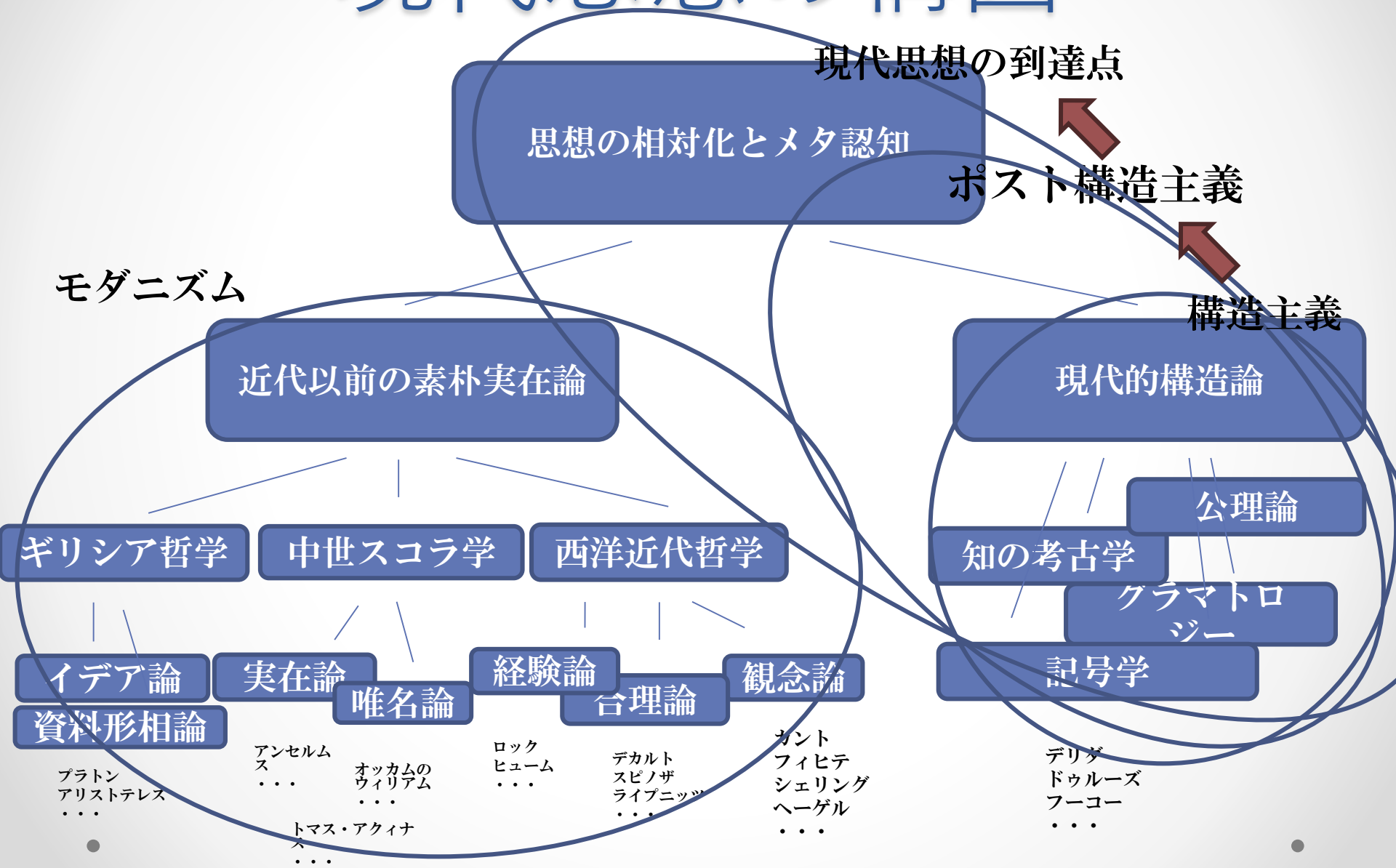
本日の内容

- 現代思想についての概説
- 病蹟学についての概説
- 2人の現代日本人の病蹟
 - 1) 山本七平の病蹟
 - 2) 網野善彦の病蹟

現代思想

- 現代思想は近代の問題の解決を目指した。
- 近代と現代は本質的に異なる。
- 構造主義の理解が必要になる。
- 存在論や認識論に構造主義を適用し哲学を再構成した。
- 現代の科学技術は現代思想を基盤とする。

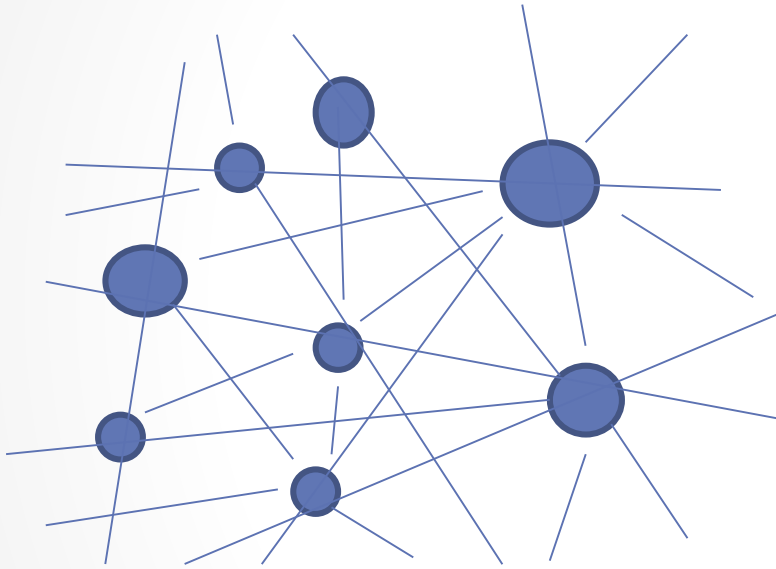
現代思想の構図



実体と構造の関係

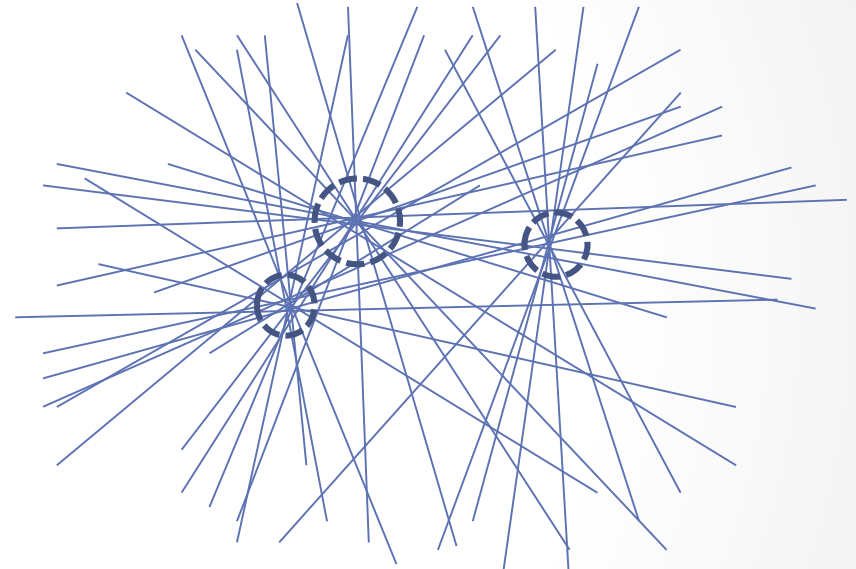
モダニズム

ポスト構造主義



要素がまず存在し、要素同士が二次的に関係性を持つ。

- 物（物質）の説明にすぐれる。
- 認識対象の概念的な部分の説明が苦手

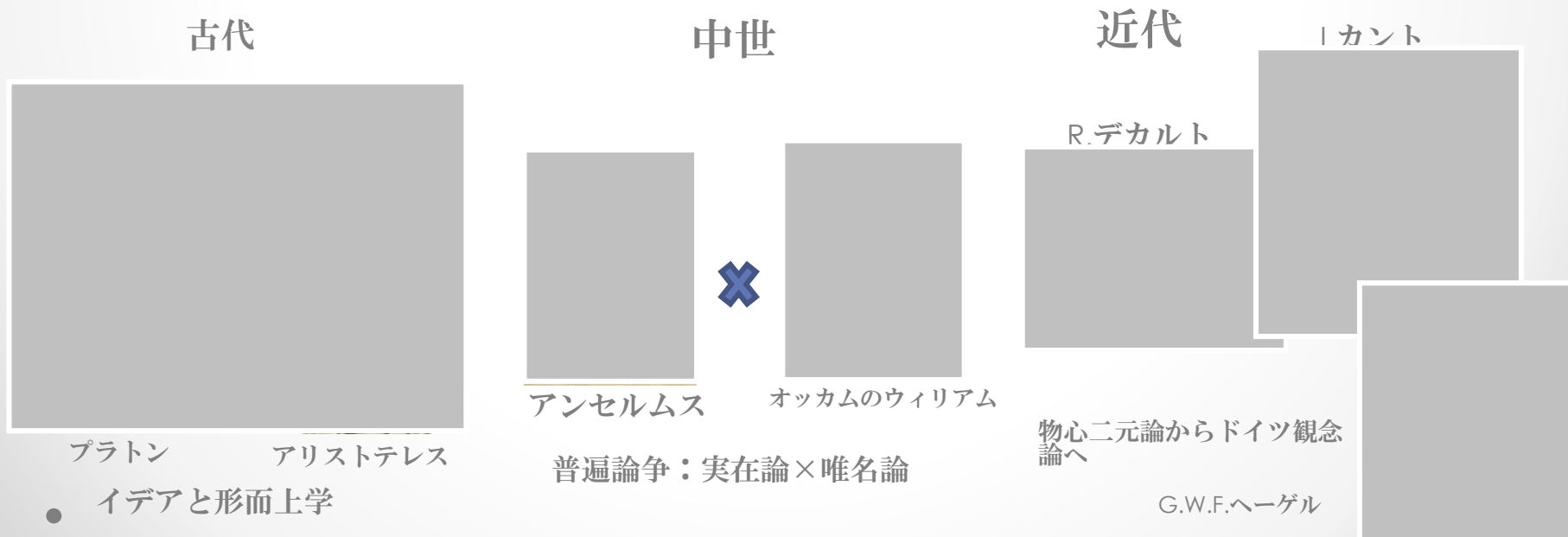


関係性が先に存在し、二次的に要素を定義する。

- 事（概念）の説明にすぐれる。
- 認識対象の感覚で把握する部分の説明が苦手

素朴実在論

- 物質や外界などの認識対象を、実体であり実在すると考える。
- 普通、人間は成長の過程で自然に素朴実在論的な認知機能を発達させる。思考はこの能力に依存して行われるため、素朴実在論的影響を逃れることは困難である。
- 現代思想で自覚されるまでは、思想・哲学の混乱・論争の原因となった。

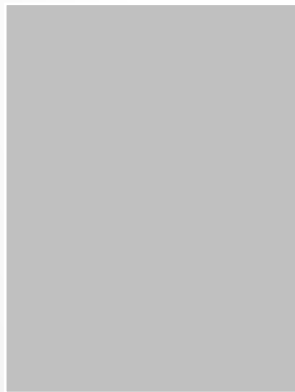


構造主義

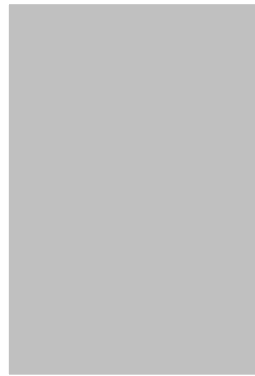
- 構造主義とは、あらゆる現象に対して、潜在する構造を抽出し、その構造によって現象を理解し、場合によっては制御するための方法論を指す言葉である。
— wikipediaから—
- 実体概念や実在性を否定する思想は過去にもあったが、構造主義により初めて科学技術にまで適用できる具体性、実用性、発展性を持ちえた。

現代的構造論

- 構造論は要素の関係性の研究であり、近代以前から存在した。
- 19世紀末から、数や言語など観念的な対象を研究する数学や言語学等の分野で現代的な構造論が発展した。
- 現代的構造論は近代的構造論と異なり、対象の実在性の措定や実体としての自明性の要請を必要としない。



David Hilbert (1862- 1943)
ダフィット・ヒルベルト
ドイツの数学者。
「現代数学の父」と呼ばれる。



Ferdinand de Saussure(1857-
1913)
フェルディナン・ド・ソシュール
スイスの言語学者、言語哲学者。
「近代言語学の父」と呼ばれる。



Claude Lévi-Strauss(1908 – 2009)
クロード・レヴィ＝ストロース
フランスの社会人類学者、民族学者。
アカデミー・フランセーズ会員。

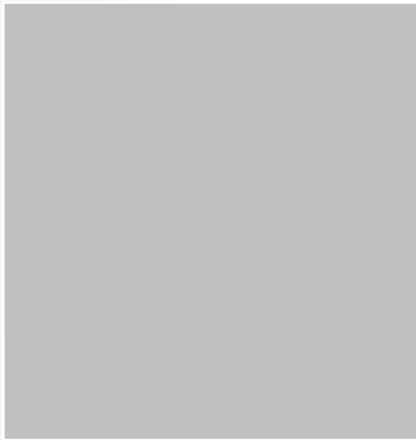
構造主義の例

ーユークリッド幾何学の公理化ー

- 伝統的な幾何学では“点”や“線”などの要素は 実在性を持つ実体であり、定義できた。
- しかし「点は部分をもたないもの」「線とは幅のない長さ」という定義には意味がない。要素の実体性を基盤にして数学の确实性と厳密性は確立できない。
- 要素が一次的にあり二次的に関係性があるのではなく、関係性を規定する公理体系が一次的であり、数学の要素は二次的に定義される。

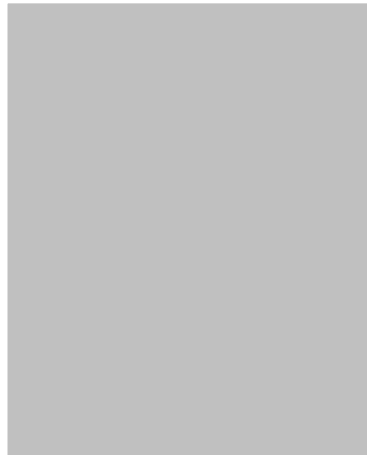
ポスト構造主義以降

構造主義を存在論や認識論に適用。従来の思想・哲学の枠組みを相対化し、全体を見渡すメタ認知を獲得することで西洋近代哲学を終焉させた。



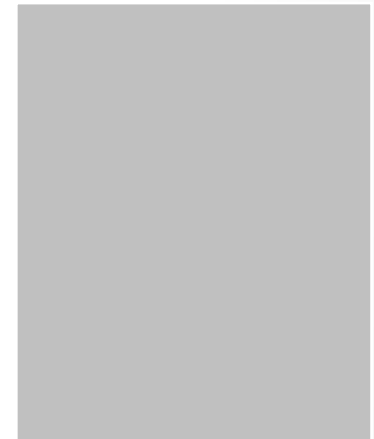
G. ドゥルーズ(1925-1995)

現代における新しい生き方のビジョンを示した。



J. デリダ(1930-2004)

西洋近代哲学の内部から西洋近代哲学の解体と再構築を行う。



M. フーコー(1926-1984)

現代思想の視点から様々な社会分析を行った。

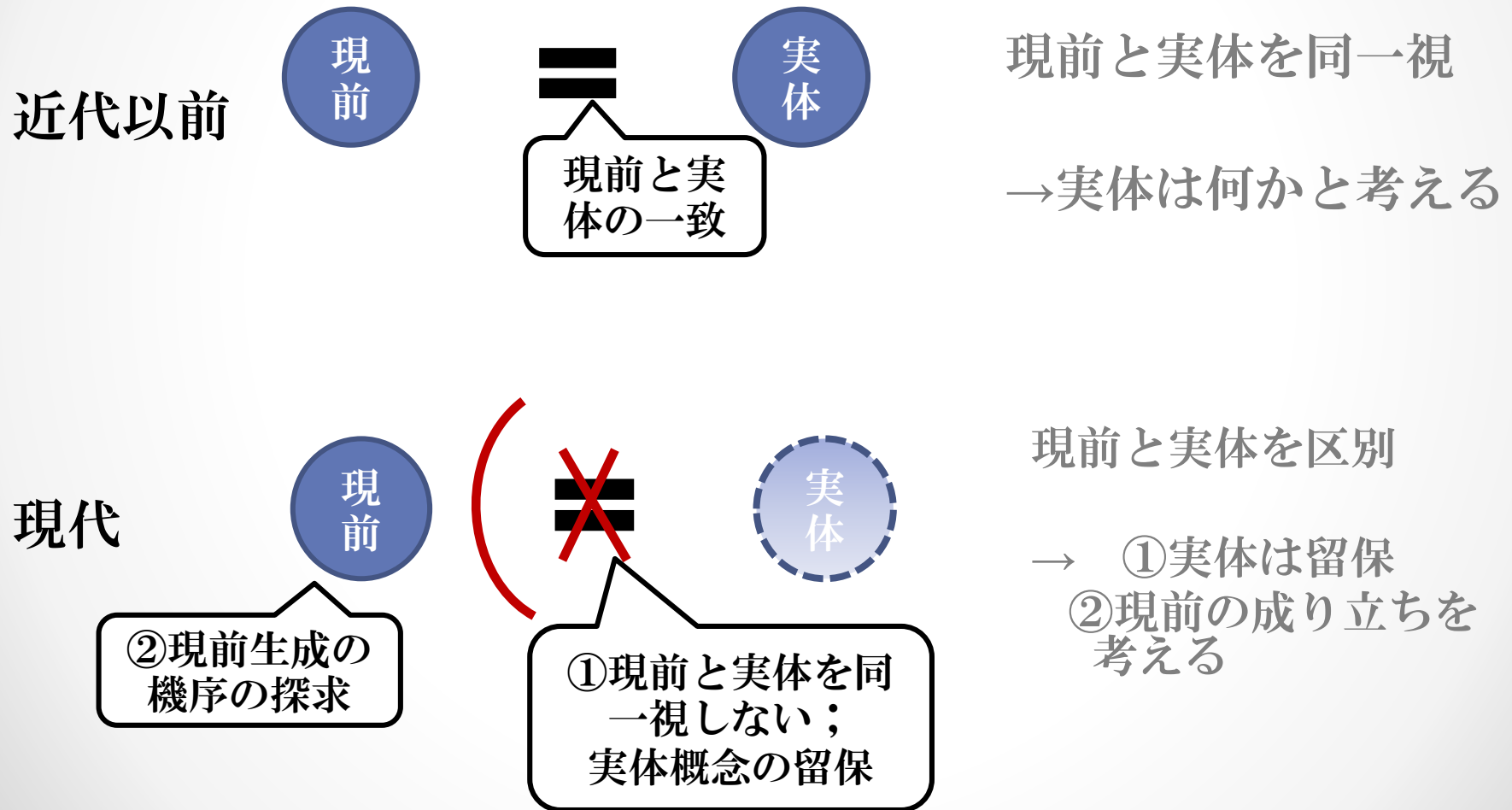
西洋近代哲学

- 確実な物事の追求を目的とする。
- 「心の中で確からしく思われる」物事に引きずられ、主観と客観についての一元論や主客二元論が生じる
 - Cf. 「客観的存在は実在するが心は不確かなので主観はあてにはできない」
 - Cf. 「客観的世界は存在せず本当は観念のみが存在する」

現前

- 現にここにあると心の中で感じられること。感覚・意識に生き生きと確からしさをもって現れていること。西欧形而上学では恒常的実体と結びつけられた。
- その一方、ハイデガーは出来事として考え、デリダも脱構築の対象としている。

素朴実在論と現代的構造論の違い



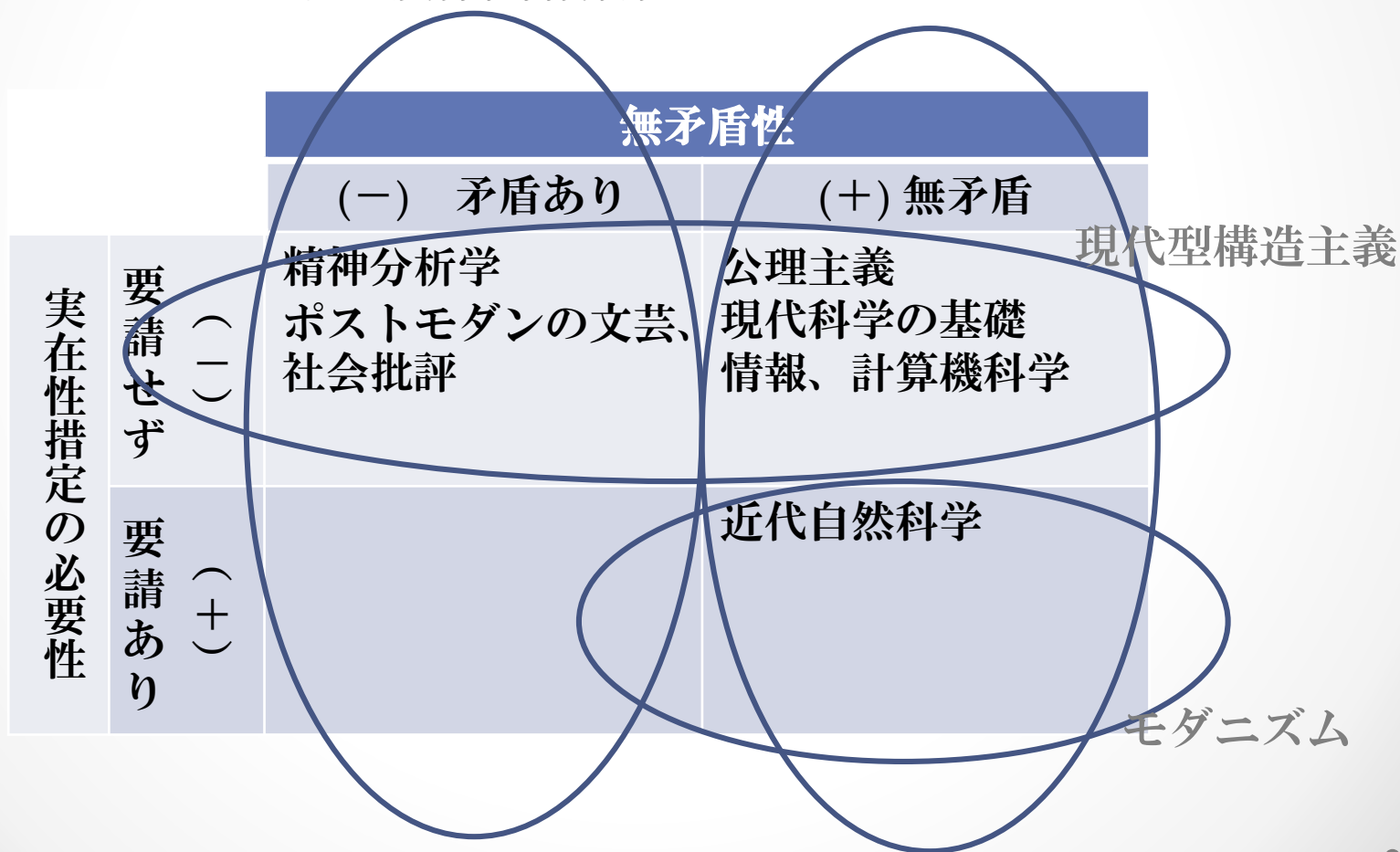
構造の無矛盾性

- 構造は矛盾を含む構造と矛盾を含まない構造の2種類がある。
- 数学、自然科学、論理学、計算機科学などは整合性、一貫性を追求するため、基礎理論は矛盾がないように作られている。
- 文芸や現実社会の評論、人間の心の研究などは一つの整合的な理論体系からだけで成立していないので矛盾を含むことが多い。

構造の分類

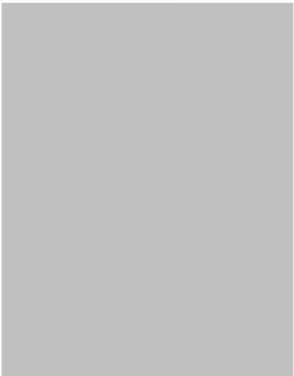
心、社会、文化、芸術
など人文科学系諸分野

論理、合理主義



メタ認知

- 「知っているということを知っている」「認知していることを認知する」「理解していることの理解」など認知を認知することであり、人間が自分自身を認識する場合において、自分の思考や行動そのものを対象として客観的に把握し認識することを指す。



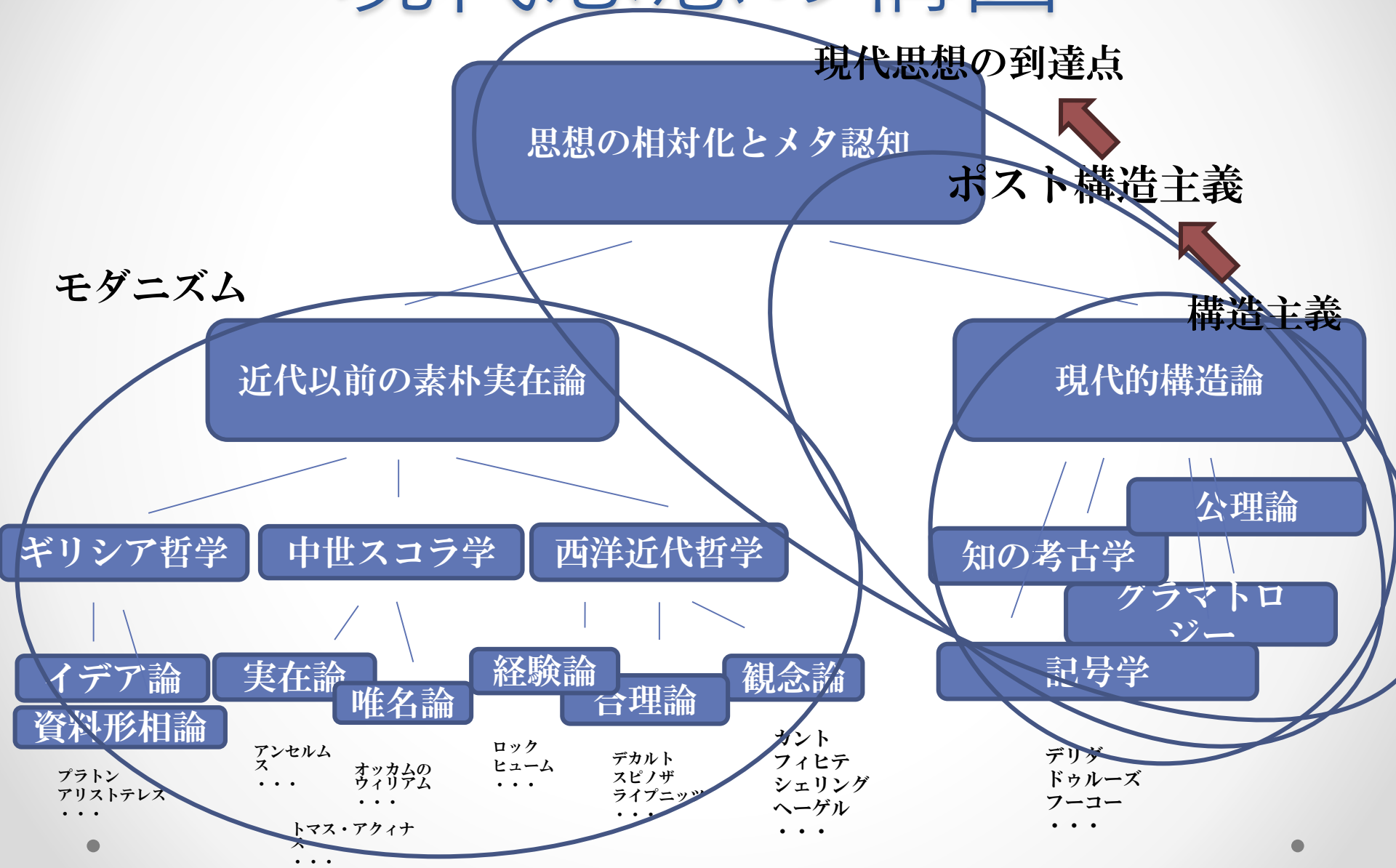
「自分が知らないことを知っている」
ソクラテスの“無知の知”

「無矛盾であればその無矛盾性を証明できない」
ゲーデル、不完全性定理



「語り得ぬものについては沈黙しなければならない」
ヴィットゲンシュタイン『論理哲学論考』

現代思想の構図

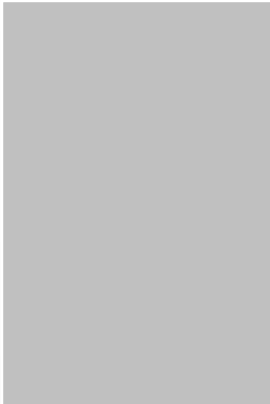


現代思想による変化

- 素朴実在論と現代的構造主義をどちらも絶対化することなく相対化してみることで人間の知の枠組みをメタ認知
- 素朴実在論に無意識に立脚していた近代以前の哲学（近代西洋哲学）が終焉。以降哲学という言葉が使われず、思想という言葉が使われるようになった。
- 存在論と認識論に適用されることにより、伝統的な哲学に革命を起こした。現代では西洋近代哲学を指す意味での哲学という言葉は使われず、思想という言葉に代わる傾向にある。

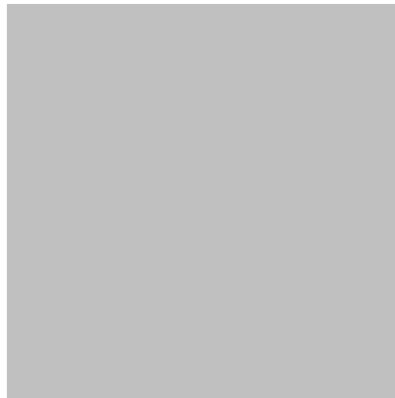
現代思想の日本への普及

- 日本では1970年代からフランス現代思想が紹介され始め、1980年代に社会的に流行、蓮見重彦が東大の総長になり、東大の教養のテキストの『知の技法』が一般書籍の中でベストセラーになるなど大きな影響力を持った。
- 現代思想を科学の基礎やリテラシーとして広く行き渡らせようとする、ニューアカデミズムをいう啓発活動が生じた。



浅田 彰 (1957年 -)

哲学者、思想家、批評家。専門は批評、思想史、現代思想。京都造形芸術大学大学院芸術研究科教授、同大学院学術研究センター所長。



蓮見 重彦 (1936年 -)

フランス文学者、映画評論家、文芸評論家、編集者。第26代東京大学総長、東京大学名誉教授。



中沢 新一 (1950年 -)

哲学者、思想家、人類学者、宗教学者。明治大学特任教授/野生の科学研究所所長。

現代科学との関係

- 科学の二大要素である論理と実証のうち、論理の基礎は現代思想が担っている。
- 科学で用いられる論理や理論の基礎は、現代論理学や現代数学の基礎論などの現代思想を基盤としている。
- 科学の目的である認識や存在の确实性や厳密性の追求において、それらの意味や定義付けは現在、現代思想によってなされている。

精神医学と現代思想

- ヤスパーズなどの現象学に基礎を置く。
- J.ラカンが精神に関するモデルとして現代的構造主義を適用。エディプスコンプレックス等、後期フロイトの精神に関する構造モデルを用いて、自己や他者を含めた人間の対象の認識システムをシェーマエスを用いて一般的に説明した。
- 統合失調症の本体を現前の生成障害と考えることで、患者の思考を異常ととらえることなく、正常の人間と共通するモデルを用いて理解、解釈することが可能となった。

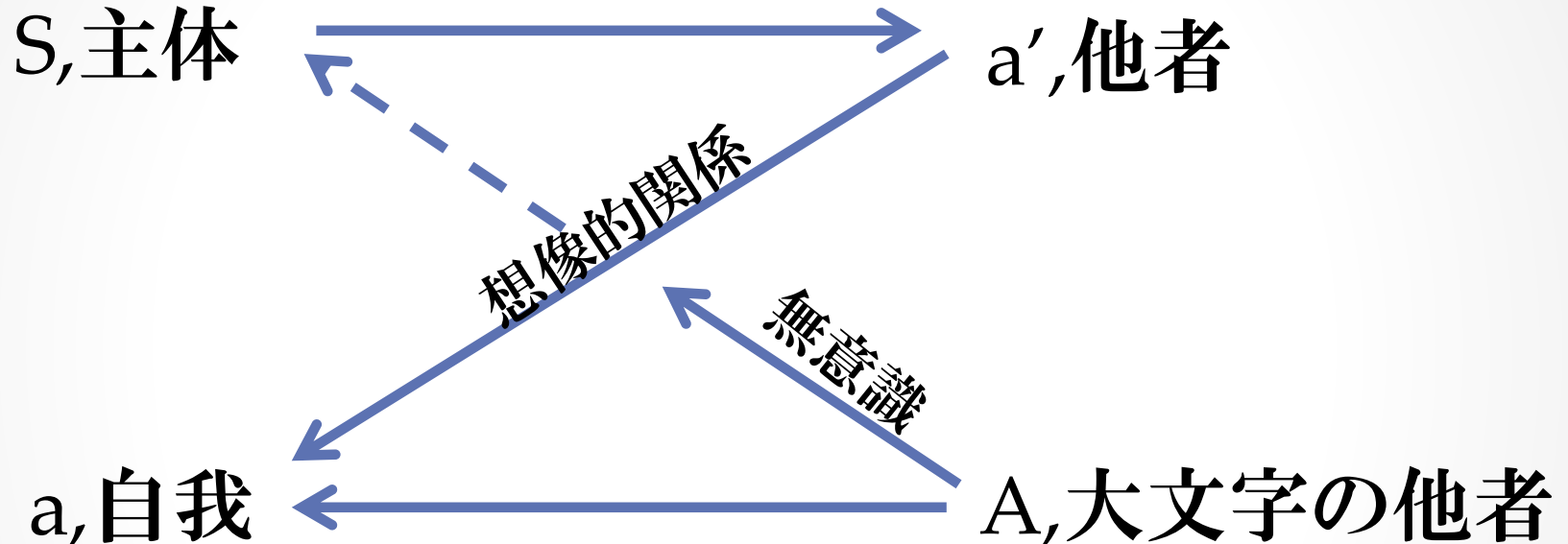
ラカンの構造主義的精神分析

- 精神分析に構造論を導入し、精神を構造主義を用いて理解する視点を導入
- 自己と他者の同一性や恒常性をシェーマLなどの図式を用いて説明
- 精神病（＝狂う、狂気、きちがい）を正常－異常のように分けて考えるのではなく、両者を統一的にみる新しい精神病理学の提示



J.ラカン(1901-1981)
フロイトの精神分析を構造化した。

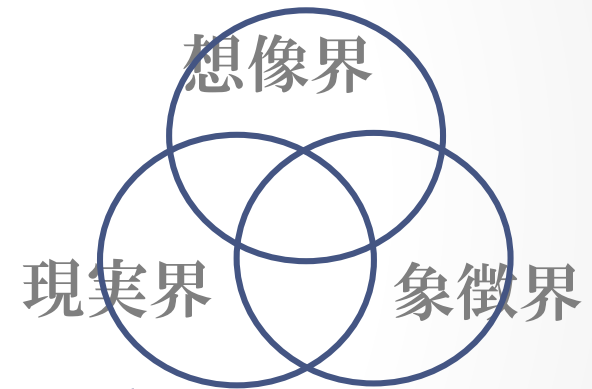
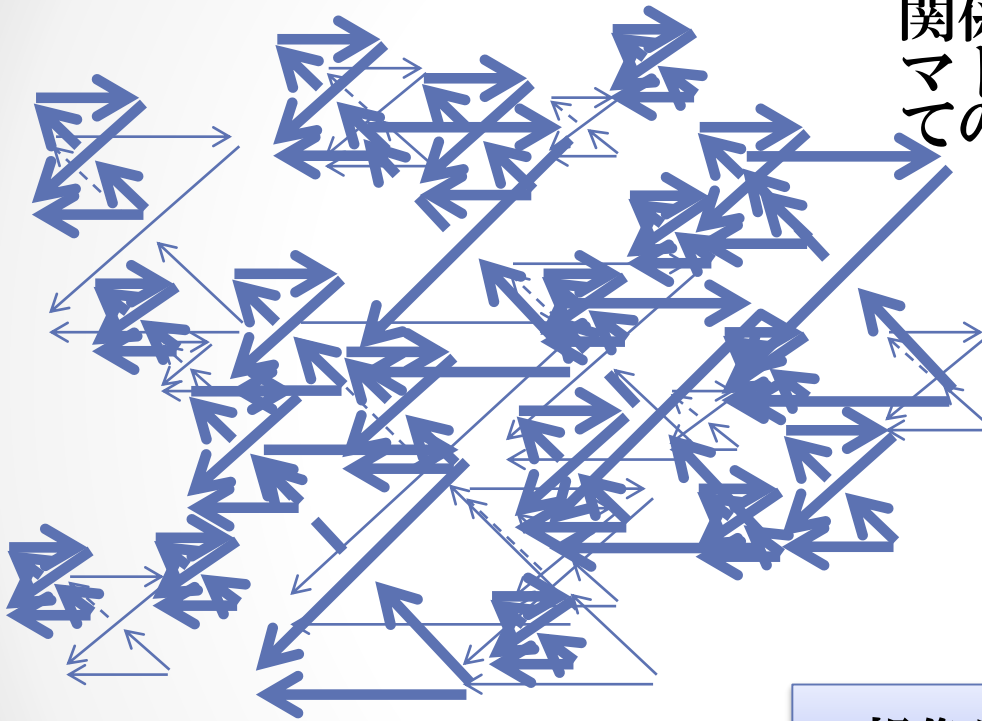
シェーマL



- 関係性や構造の変化により、現前も変化する。
- 現前のモデルにもなる。

現前と世界

関係性の網の目の
マトリックスとし
ての世界



想像、記号、
実体の世界

想像界

現前が現象
する意識の
場

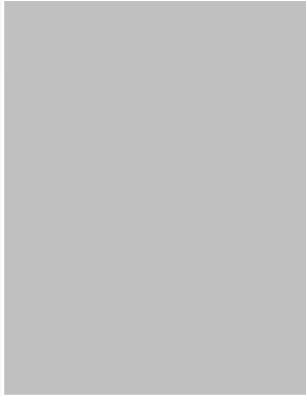
象徴界

現前を記号
化し言葉が
うまれる

現実界

実体の世界

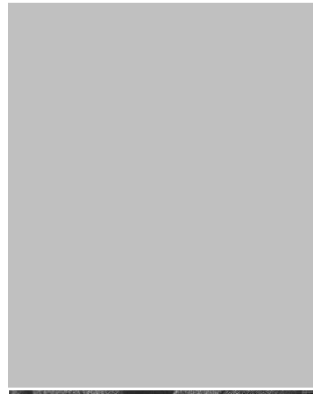
現代思想の影響 認知科学、情報科学など



John von Neumann(1903 – 1957)

ジョン・フォン・ノイマン

ハンガリー出身のアメリカ合衆国の数学者。数学・物理学・工学・計算機科学・経済学・気象学・心理学・政治学に影響を与えた。



Alan Mathison Turing(1912-1954)

アラン・チューリング

イギリスの数学者、論理学者、暗号解読者、計算機科学者。計算機科学・人工知能の父と言われる。

- 現代の情報科学、計算機科学は当初から現代思想の影響を受けている。

- 認知科学の知見による人間の心の理解は、現代思想的な認識論に接近している。



池谷 裕二（いけがや ゆうじ、1970 -）

東京大学・大学院薬学系研究科・教授。脳科学の知見を紹介する一般向けの著作が多数ある。

病蹟学とは①

「精神的に傑出した歴史的人物の精神医学的伝記やその系統的研究をさす」

— 宮本 忠雄 —

「精神医学や心理学の知識をつかって、天才の個性と創造性を研究しようというもの」

— 福島 章 —

草間彌生

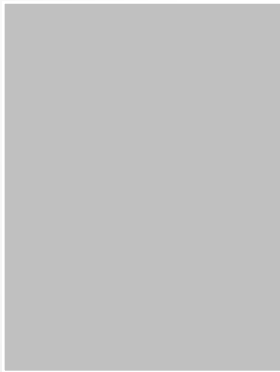
日本病蹟学会のHPから

フィンセント・
ファン・ゴッホ

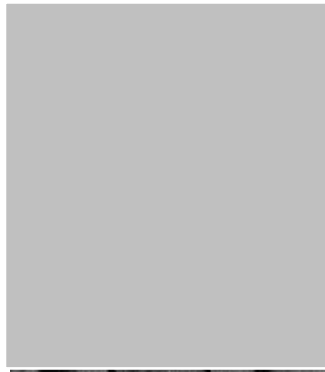
夏目漱石

病蹟学とは②

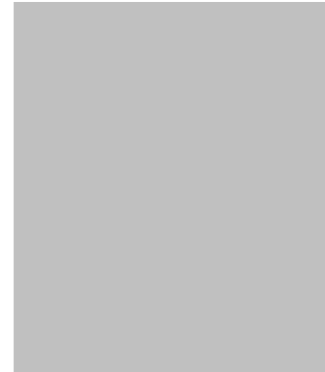
- 独創的業績をのこした天才たちの生活史における精神的異常性、病理性（≡病蹟）を研究する学問として出発。
- 近代においては、狂気、天才、独創性を特殊、異常なものにとらえ、その共存に意味を見出そうとした。
- 現代においては、特殊性や異常性から離れて「創造性」を、精神医学的、あるいはその他の研究領域から探究する学問となっている。



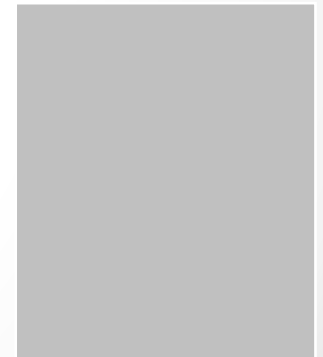
Cesare Lombroso (1835 - 1909)
チェーザレ・ロンブローゾ
イタリアの精神科医で犯罪人類学の創始者であり、犯罪学の父とも呼ばれる。天才の研究を行った。



Karl Theodor Jaspers (1883 - 1969)
カール・ヤスパース
ドイツの精神科医、哲学者。ゴッホの病蹟など、病蹟学に関する研究を行った。



Ernst Kretschmer (1888 - 1964)
エルンスト・クレッチマー
ドイツの精神科医。ヒトの気質を研究し、類型学的に分類した。



Sigmund Freud (1856-1939)
ジークムント・フロイト
オーストリアの精神分析学者、精神科医。